

発言者	発言要旨
座長	本日の議題、鹿児島市コミュニティ意見懇話会報告書案については、分量が多いため分割して説明しご意見をいただく進め方でよろしいか。
	(異議なし)
座長	それでは報告書案の1ページから11ページについて、事務局から説明をお願いします。
事務局	(1～11ページ説明)
座長	何かご意見等あるか。
事務局	7ページの「地域コミュニティ協議会という組織の活動の目的」で、「組織の目的の役割」の文言や文章が他の内容に比べてやや抽象的な表現になっている。場合によってはもう少し平易な表現にする方法もあるが、ご意見を伺いたい。
座長	多少抽象的になるのは致し方ない気もするが、ちょっと硬い言い回しか。
委員	例えば分析や計画、ある種のガバナンス機能も含めたところまで踏み込むかどうか。緩ければ緩いほど包括的で、いろんなものに当てはまるが、もう少し解析度を上げるとするならば、しっかりとした計画や実施の土台というイメージが入ることかもしれない。やわらかく言うと、誰でも受入れるような受け皿だととられてしまうので、そこはもう一步踏み込むのであればそれを具現化や計画化するという書き方が(いいのでは)
委員	目的の1行目から2行目の「地域コミュニティにおいて市民が参画し」は、79小学校区の協議会の校区に住んでいる地域住民というイメージなのか、60万の市民に対して発信しているのか。限定的な校区に住んでいる地域住民を指すと思ったら、そこを変えた方がよりいい。あと「有機的・包括的」は携わっている人たちにはわかるが、一般市民は何のことか(わからないので)市民が閲覧することを考えると、より具体的かつ平易な表現の方がいいと思う。
座長	(目的の中に)「地域コミュニティ」が3つ出てくることを考えても、今の委員のご意見は大変いいと思う。1行目は最後を「地域住民が参画し」に変える。それから「有機的、包括的」という抽象語が並んでいるが、もう少し具現化的な言葉を入れるというところ。
委員	今社会変革をしている状況の中で、5年10年先を見据えた社会に対応し得る地域課題解決していける有機的な連携というより、もっと解析度を上げて、「新しいコミュニティ」をどうしていくのかしっかり議論し、考えていくような場というところまで踏み込むかというところだ。内容的にはそれに近いような形になると思う。この報告書をどう活用して活動していくかがメインテーマになるとした場合に、これからのコミュニティをどうしていくかを今回の懇話会をきっかけにみんなで解析度を上げていこうという内容を含め

発言者	発言要旨
	<p>るのもありだと思う。そういう前向きな姿勢はすごく素敵だと思う。ただ、それを書いたことによってこぼれ落ちるものがあると難しいと思う。</p>
座長	<p>10年後を見越して、計画的にとか具現化とか、先ほど委員が言われたワードを入れると多少輪郭が出てくる。</p>
委員	<p>これからの社会を見据えて、皆さんで考えていくのもテーマとして入れてもいい。それぞれグラデーション(地域ごとの違い)があって、そもそもコミュニティは何するところ(という疑問も)同時並行で存在しているので、そこまで書けるかどうか。</p>
座長	<p>今二つ論点があったが、具体的、計画的あるいは前に動かす姿勢を入れるというご意見と、事務局が言われたのは表現がちょっと硬いということ。</p>
委員	<p>これは最終的に誰がメインで読むのか。</p>
座長	<p>地域コミュニティの方々。</p>
委員	<p>それぞれが受け取って指針としてどうするかとなると、わかりづらい、ちょっと硬いと受け取られるかもしれない。</p>
座長	<p>一方で、目的は抽象的で硬くなりやすく、あとがやわらかいのでそれでいいという考え方もある。凝縮されていくと、そういう表現にならざるを得ない。短い文章でまとめると余計そうなる。</p>
委員	<p>私も現実で関わっているので、これをどう受け入れて、自分の中で咀嚼して、また活動に移していくのかというところがあるが、とてもいい言葉でまとめていると思う。具体的に先を見越した5年後10年後、世代交代も求めなくてはいけない協議会であると思う。若い世代とまでは言わなくても、先を見越してどう社会が変わっていくのかを、自分たちで見極める力がないといけないし、これから育てていかななくてはならないと思った。</p> <p>だからおしなべて、とてもいい言葉で綴ってあるしずっと入ってくる部分もあるが、委員が言われたような「市民」ではなく「地域住民」という具体的な言葉であったり、もう少し掘り下げて、活動するみんながわかる言葉(がいい)と思った。もう一つ、9ページのキーワードから見えてくる各課題の関係性もとてもよく拾いあげてあるので、もう少し大きくできないか。各課題の関係性は、活動している協議会(からは)見えにくい部分だと思うので、大きく書いてもらいたい。</p>
座長	<p>表現そのものは多少硬めでもいい言葉が並んでいるということだが、確かに将来を見越した具体的な活動に関する言葉が入ると、みんなが本気で考えるきっかけになるかもしれない。バックキャスト、ゴールから逆算すると考えると、単に今から積み上げて思いつきでやるのではなく、10年後どうなっているのだろう、ではその上にある地域コミュニティ像を目指すというワードを入れたらいいかもしれない。それでかえってさらに難しい言葉</p>

発言者	発言要旨
	<p>になったとしても、このあたりは目的なのである程度は致し方ないと思う。 それから9ページについて、ここは現場の方から見れば「だよな」と思うキーワード。事業を展開するにしても課題とその関係からまず目がいて、それで対話して解決となりやすい。もう少し大きく見せられれば。</p>
委員	<p>活動の目的に時間軸を置けたらいいと思う。これを読んだときに、当事者意識がわきづらいついて、若い世代や子供たちがもっと将来的に直接関わるといところがもう少し伝わる言葉が欲しいと思った。 あと9ページの各課題の関係性は、わかりやすいと同時に、矢印の方向が一方通行になっているのが気になった。例えば少ない参加者、なり手不足に対しての矢印が、役員の負担が大きいといところからになっているが、逆もありそうだったのもうちょっと複雑に矢印が絡み合っているように見えてもいいと思った。</p>
座長	<p>組織の目的は多少抽象的なので、やわらかい表現になっている活動の目的のあたりに時間軸を入れるのはどうかというご意見だ。</p>
委員	<p>ただあえて解析度を上げるのであれば、地域住民は中心だけでも、そこにいろんな団体や企業が共に関わっていくのが大事。「市民」というのは、あえてそういう書き方をしていると思っていて、地域住民を中心にそこにさらに団体や企業などを入れられるのであればセットでお願いしたい。 あと、例えば無関心と価値観の変化と時間的制約は、点線的に言うと半分ぐらいが関われる。だから時間的制約に関してはICTで解決し得る部分があって、無関心と価値観の変化に関しては、魅力を上げていくことによって関心を引き出せるという意味においては、できれば無関心と価値観の変化を上上げてもらいたい。解決しやすい環境に属性的に近いが、人口動態の変化はさすがにまだ遠い。制御可能だとして書かれているのであれば、その時間的制約と無関心の価値観に近い方がよりリアリティがある。無関心と価値観の変化は、十分に魅力的な価値感を問えることによって転換し得ると思うが、人口はまだ遠いと思っているので、細かいかもしれないが、この位置関係を入れ替えた方がいい。</p>
座長	<p>人口動態が一番下あたりか。</p>
委員	<p>(人口動態は)どうしようもない。その魅力化や無関心層は、魅力の向上や広報で、少しでもさわれる領域だと思う。この図を使われるとか強調されるようなことがもしあり得るのであれば、隣接する領域は、まだこの中で持続可能な内的要因を解決していくことによって、十分に広がりを持てる。だけど間に人口変化が入っていると、あまりその説明が理にかなわないと思う。</p>
委員	<p>先ほど委員も言われたけど、私はこの図を半ページもしくは1ページにしてもいい。私も協議会に関わる役員の1人として、これを例にしてうちの協</p>

発言者	発言要旨
	<p>議会ではこの問題は単方向か双方向か、これは点線、濃い線というのを、これを見た各協議会の会長たちが、自分たちに問題意識を提言する、とても大切なキーワードにもなってくる図だと。これ一つ見るだけで、極端に言えばほかを推察できるくらい内容の深いデザインだと思うので、もう少し大きければ、考えやすく視覚に訴えることもできる。うちの協議会だったらこれがこっちになりそうだとか想像が膨らんで、次年度からの協議会の話合いの中で問題意識を持てると思った。</p>
座長	<p>まず双方向の矢印の場所もかなりあるということ。それから中段の人口動態の変化を下に下げて、無関心価値観の変化をまだ可能性があるということで点線の下あたりでいいか、また重ねたほうがいいか。</p>
委員	<p>攻めるのであれば、点線の上にICTとか、あとその活動におけるわくわくドキドキとかそういうキーワードを入れれば、基本的な価値観の変化とかを十分にクリアし得る。せっかくここまで綺麗に作られているなら、委員がこういうのを活用して議論が深まると言われたので、よりそういう意図を持ったものとして成立した方がいいと思う。</p>
座長	<p>もう少し大きくというご意見と、7ページに関してはどうするか。</p>
委員	<p>7ページに関しては、せっかくなので市民や住民を中心に。</p>
座長	<p>地域住民にすると事業所にも広げようとしていた部分が入りづらい。逆に「地域住民を中心に何や何なども積極的に参画し」とすると具体的になる。</p>
委員	<p>そこまで解析度を上げるのであれば、そういう文言をしっかり入れといた方が(事業者などに)意識が向く。次のステップになったときにいろんな企業とかにも声をかけたいくなる。</p>
座長	<p>他にあるか。</p>
委員	<p>10ページはすごくいいと感心したが、黒丸と×はどういう(意味か)。</p>
事務局	<p>白丸は連合組織があるかをまとめた部分で、黒丸はその活動の分野に対してそれぞれ取り組んでいるかということ。</p>
委員	<p>これはすごくいいと思う。コミュニティがこんなに多くの課と関わり、こういう活動があることを、全部把握している人はあまりいないと思う。今回初めて可視化されて気づくと思う。こういうところと連携とればいいのか、こういうところに声をかけていないとか、この活動は何をしているのだろうという、コミュニティ側の考察の対象になり得るのですごくいい。だからこの図はぜひ活用して欲しいと思う。</p>
委員	<p>担当の行政を私たち一般住民はなかなかわからないところもあるので、こういうのを出していただくと後がいい(やりやすい)し、行政はこれから忙しくなるだろうけれど、受けて立っていただきたいと思う。それと文章の書き方が気になっていて、8ページ「参画事例は多くありません(10行目)」と、</p>

発言者	発言要旨
	11ページ「呼びかけるものは少なくありません(1行目)」の言い方が少し否定的な感じに見えるので、表現を変えていただければと思う。
座長	否定表現はなるべく使わない、同じ内容でも使わない方がいい印象を受けやすく、読みやすくなるので、肯定表現に。
委員	どうしてもであればそれで構わないが、気になったところだ。
座長	実務的に綺麗に流れる場合もあるかもしれないが、できたらその2点調整をお願いする。
委員	11ページにコミュニティスクールを入れていただいたのが画期的だと思う。コミュニティとコミュニティスクールの連携を考えてこの図を入れていただいたのは、すごく嬉しかった。
委員	ぜひ学校関係にもしっかり配っていただいて、一緒にやれる基盤を築いていけたらいいと思う。
委員	このページが、連携や可視化されていく。
座長	特に10ページの図はとてもいいと思う。今回、行政が連携を進めるための項目が強化されたが、このページ自体がもう第一歩を踏み出している感じがするし、市役所の各課で市民から問い合わせがあったときにこれを見ると、これは何課だと連絡しやすくなる。コミュニティスクールの概念図がここにあるのはいいが、活動分野の一覧に教育委員会は入れづらいということか。一般行政と教育行政は分離しやすいが、地域に関することでは本当はもっと融合できたらいいが。
委員	これは意図的なのか。生涯学習課が入っているからかと思ったが、これで括られたら学校教育課もそうだ。
座長	生涯学習課は教育行政の中にあるのが一般的だが。
事務局	そのとおり。
委員	教育行政だが、生涯学習課は結局学校地域共同活動の範疇で、実はこのコミュニティスクールの方が学校教育課(学務課)なので、それが載っているのはいいが、確かに言われてみれば、活動一覧に学校教育課はない。
事務局	作った際に起点にしたのが、この地域活動に取り組む団体について各協議会の構成団体を列挙したので、そこに今回の学校運営協議会を入れるかどうかで(迷って)いったん抜いた。
委員	そういう意味では学校長が組織的なトップになって、その経営方針が投げられてくると思うが、それに対してということなので、校長先生の人材的なものでかなり価値観が違うと思う。
座長	このあたりは、右に入れていただいたことでよしとするか。 では続きの12ページから14ページまで説明をお願いする。
事務局	(12~14ページ説明)

発言者	発言要旨
座長	では私から、13ページの市の真ん中あたりの具体的な取組み事例のところだが、ICT導入のガイドラインや企業表彰はこれまでに実施されたことはあるのか。
事務局	令和5年度から取組む予定だ。
座長	この辺りは攻めている。左側の先進事例の調査研究など。 13ページの「リーダー及び担い手の育成」のところだが、一番下の具体的な取組事例として、何かご提案はあるか。
委員	13ページの、市の「コーディネーターによる課題解決型の支援」で、「コーディネーターの部会等への派遣」とあるが、コーディネーターの時間的なものは大丈夫なのか伺いたい。持ち校区が多い方もいると思う。
事務局	すべての部会に原則参加するという意味ではなく、要望があった際に必要に応じて行くというケースを考えている。
委員	うちの場合だと、コーディネーターに全体の役員会で来ていただくこともあるが、会長と事務局長とコーディネーターの時間を合わせて、個別に校区公民館に来てもらったり、話し合いをしてその結果を役員会で事務局長や会長が取り次ぐ形にしたりしている。必要な際はこちらから候補日を挙げると来てくださるので、今のところはそういう形で事務局長がやってくれているのでだいぶ助かっている。
委員	コーディネーターにこちらから要請をして来ていただいているんなアドバイスをいただくのは、私たちの校区は足りていないと改めて思った部分もあったが、もう少し具体的な部分は要望しないからそこに具体的なものがないというのを改めて確認した。
委員	確かにこれから五カ年計画を再度作るにあたっては、今のままでよかったのか、これからどうしたらいいのかコーディネーターの知恵を拝借して、予算・決算も踏まえて、費用のかかることもいろいろアイデアがあったりされるので、例えば協議会の総会の際にコーディネーターに来ていただくという話も役員会で出たが、節目節目で来ていただくことは可能だと思う。
委員	それぞれの協議会が、コーディネーターを活用していくというような表現があるといい。「各部会等への派遣」というと「コーディネーターが」というところもあるので、協議会がコーディネーターを活用していくみたいな言葉もあっていい。
座長	「各協議会、各部会の要請に応じた」とかか。
委員	でもコーディネーターを活用していくのは、この文面の中ではなかなかわからないと思う。
座長	コーディネーターを活用というと硬いが、要するに人的な動く拠点ということ。知恵の塊をうまく協議会が活用できればいいのでは。

発言者	発言要旨
委員	だからいろんな事業にコーディネーターが出向いてきて欲しいと思っている。普段の話す中にいろんな議題とか課題とか出てきて、アドバイスをされるのではないかと思った。
座長	「コーディネーターを今度お呼びしましょう」ということを思いつかない事例が多いか。委員の場合は思いついて、要所で呼ばれるということ。
委員	事務局長と会長の行事予定を見ると、コーディネーターとミーティングとか載っている。
座長	委員の経験談ややり方を、いろんなコミュニティの方が聞かれたらいろんなノウハウが得られる気がする。経験豊富な方による座談会みたいなのも学習素材になると思ったが、もしどこかにもう少し積極的に「招く、頼る、相談する」という表現が入れられそうなら、検討をお願いする。
委員	これで十分と言われたらそうだと思う。
座長	深く読まないといけない可能性もある。派遣というと呼ばなくてもやってくるというイメージかもしれないが、そのあたりご検討いただければ。
委員	<p>(1)の市の“協議会という目的の確認と発信”でもカバーして思うが、ぜひこれからどうしていくのかということは、常に情報を更新、研究、分析するのに、先行事例は弱い感じがする。だからそれは包括的に入っているが、もっとしっかり鹿児島のコミュニティをどうしていくか、よりしっかりと吟味を続けていようなニュアンスを入れてはどうか。県内外の先行事例の調査研究で、今までの先行事例は有名などところを見学して、それだけではなくこれからどうしていくかとなったときに、ガバナンスの話や研究やチャレンジというような取組を、市もしっかりとやっていく、吟味を続けていくというニュアンスは入れてもいいと思う。この辺は文章の書き方だけでも、もう少し強調してもいいと思う。これは協議会側が目的の再設定をしていくけれど、それに対して市もまたアップデートしていけるような情報収集・調査研究という形になっているので、先行事例の調査研究は何となく少し弱いと感じている。その部分をもう少し突っ込んでいいと思う。だから市はこれから5年、10年先に必要なコミュニティとはどういうものを協議会とともに考察していく、ということが文脈でとれるように工夫してもらいたい。先行事例調査で終わる(より)もっと声を拾ってこの地域はこれが必要なんじゃないかというのを分析していくということだ。</p>
座長	先進先行事例を研究した後に、それを自分のところでどれが使えて、これはできているというその後の振り返りと計画に繋がっているかということ、研究という言葉にそれは含まれるのだろうが、具体的にどのように書いたらいいか。
委員	県内外の先行事例の調査研究よりも、社会変革に合わせたこれからの新た

発言者	発言要旨
	<p>なコミュニティのあり方についての吟味、検討を行政は続けていくという姿勢を示して欲しい。そこに可能性を開いておけば、とりあえず何か先行事例を調査して学ぶよりは、これからのコミュニティはこれが大事だということを打ち出していい。鹿児島市の活動はグラデーションがあってすごく魅力的だと思うので、そういったようなものをしっかりと捉えていく。最終的には、こういう分類がどんどん生きてくるんじゃないかなと思うので、ぜひ鹿児島コミュニティの行政はそういった分析に積極的にコミットしていくところは示してもらえると嬉しい。</p>
座長	<p>県内外の先進事例の調査研究と、これからの社会変革に合わせたコミュニティのあり方の検討。</p>
委員	<p>検討とか模索とか、そういう文脈が入って問題なければ入れていただきたい。</p>
座長	<p>あと協議会という目的の確認と発信だが、“協議会という目的”じゃなくて“協議会の”か。</p>
委員	<p>言われたとおりだと思う。協議会を鹿児島としてどう表現していくのか、行政も一緒に考えていくということ。</p>
委員	<p>他人事じゃなくて自分事に。</p>
座長	<p>当事者意識をぐっと惹きつけるということ。 それでは、15ページから18ページまで説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(15～18ページ説明)</p>
座長	<p>何かご意見等はないか。</p>
委員	<p>これをどう適用して、どう共有できるかという方法論の問題になっていくと思うので、これですごくいいと思う。あとはチェックリストも「しなくてはならない」ではなく、これをベースに緩やかな話し合いが生まれていくような仕掛け作りをしていくことが大事。現場の皆さんに聞きたいが、これを示されたときに、活用できると思われるのか、(チェックするよという)精神的なプレッシャー(を感じるのか)気になった。評価や点検は、これまでどちらかというそれが駄目とかいいとか、それによって例えば補助金が決められるとか、評価に対するアレルギー的なものがあったが、本命の評価は、みんなで頑張った評価。</p> <p>そう考えたときに、次に向かってそれぞれもう一度取り組んでいこうみたいな形で使われると最高だ。だけど、これを見せられたときに、チェックしなきゃいけない、これは駄目だという精神的プレッシャーを受けるようであれば、アプローチの仕方や適用の仕方についてワンクッション必要なのは悩むところで、現場としてこれがどういう感覚で見えるのかはすごく気になっていて、そこについてはよろしければお聞きしたいと思う。</p>

発言者	発言要旨
委員	<p>ここでコーディネーターの出番だと思う。コーディネーターに出ているだけで、役員たちと一緒に読み合わせをしてもらいたい。そこで一つずつ現状がどうなのか確認していきたいと思う。たまたま次の5年度が次期プランを決める大事な時期なので、報告書を活用する機会になる。自分なりのコミュニティを持っているつもりだが、組織的にどうなのか、鹿児島市がどういうことをやりたいのか、どこに向いていくのかを確認する基盤にこの文言がなっていけばいいと思うので、一つ一つ読み解きながら、自分の中で咀嚼していきたいと思っている。</p>
委員	<p>行政側としては、ここでコーディネーターの出番だ。つまりこのチェックリストを使いながらしっかりと説明を加えて、みんなどうですか（と確認する）というのは絵に浮かんだが、（チェックリストの使い方は）これを想定しているのか、それとも地域のやり方にお任せする構図になっているのか。</p>
事務局	<p>局として同意をとったわけではないが、この報告書が少なくとも各協議会に対して少し時間をとって説明する必要があると考えている。ここの部分についても説明の場で活用を呼びかけるつもりでいた。</p>
委員	<p>それがテンプレートじゃなくてもいいが、これが直接ファックスか何かできてチェックしてと言われると、相当なプレッシャーだと思う。</p>
委員	<p>私自身も決してそういうものではないと思う。みんなで読み合わせをしながら、一つ一つ言葉を確認しながら、現在の活動を自分たちの中にしっかり受け入れながら、あるいはみんなと共有しながら反映していくところだと思う。だから「チェックリストです、どうぞ皆さんチェックして」ということではないと思う。やっぱりそこにもう一つコミュニティを作っていくながらコミュニティが生まれていく、さらにそれが校区に広がっていくみたいな形になっていけばとてもいいと思う。</p>
委員	<p>今委員が言われたようなことが共有できる文があればいい。</p>
座長	<p>一文、日々の活動のためにどうぞ活用くださいと入れるか。上から目線でチェックしなさいというつもりではないので、生かすよう作ってみました。</p>
委員	<p>これをもらったときに誰がどう使うんだろうと思ってチェックするが、うちはできていないけどそこからどうすればいいの、みたいなところもある。企業としてこういうチェックリストがあるときは、誰々とコーディネーターと一緒に読み合わせていきましょうという一文や、そういうルートを作ってあげる、もしくは前回の会議であったブロック単位で会話させる仕組みを作ったら面白そうでは。他のできている協議会とマッチングしてあげるところを示唆するような文言を書いてあげると使いやすくなる。</p>
委員	<p>ブロック単位で使っていくのもありだ。</p>

発言者	発言要旨
座長	コーディネーターと、あるいは研修や交流、対話の機会にご活用くださいという一言を入れるといいかもしれない。
委員	それぞれ個々に協議会に送っていくのではなく、ブロック単位で集まっていたいて、その場で会長や副会長に説明しながら一緒に読み解いていくようなことができれば、ブロックのこれからの組織的な感じになる。これが(突然)送ってこられるとこれは何という感じになるから、そこから始めるといいのかもしれない。
座長	必要なアクションを書いているのがいい。先ほど委員が言われたコーディネーターと読み合わせていくだけでも、そのあとに意見や感想を聞いたり、ちょっと書いてみたりする作業はまさに演習だ。かなりの学習度になる気がするので、そういう使い方ができればいい。他にあるか。
委員	チェックリストの名前を、何か振り返るためだけに使われそうな感じがするが、振り返った上で今後はどう生かしていくかがポイントだと思うので、現状を振り返り未来につなげるためのとか、前向きにチェックできるとか(付け加えられるといいのでは)。ただ評価するためだけのものにとらわれたら悲しいと思う。
委員	タイトルは大事だ。
委員	行政が取り組むべき事項のところに、12ページの積極的にPRを検討していくようなものも少し入れていただいて、鹿児島は協議会に関しては、5年、10年先を見据えてみたいアクションを入れて、住民の意見を取り入れてやっていく。それも踏まえて行政も住民とともに分析して、そういったものを進めていく共生協働的なイメージで書いていただけると嬉しい。受け身的に皆さんが主役だから私たちはそれを実現しますというよりは、共にだと思ふ。行政もともに問題解決に向き合っていくんだという姿勢を示してもらいたい。
委員	やっぱり行政の方も遠慮しないで地域に出て交流してほしいし、それを聞くことでまた自分たちの施策として対応していただければありがたい。
座長	ともに歩みたいな感じで。
委員	確定的なことを言うとならなければとなるけれど、少なくともそういう姿勢だけは示していただきたい。
座長	最後の2の「行政が取り組むべき事項」は、唯一私たちが言っている表現。このあたり委員の意見も反映してもらえればと思う。他にあるか。 よくPDCAサイクルが取り入れられるがCの部分が滞りやすいので、チェックリストがあって、Aのアクションも書いてあるのはとてもいいと思う。一方で、各部署で何に向かってPDCAを回しているか、ゴール・大目標を忘れやすいので、時々振り返ってゴールに向かっているか意識されるといいと

発言者	発言要旨
	<p>思っている。委員がコミュニティの目的や目指すところを再三強調する議論になったことと合わせて、地域の未来に資すると思う。また、すごくいい報告書ができたのではないかなと思う。</p> <p>1点、市が認証を受けているWHO推奨セーフコミュニティも地域防災などで関係するが、他の計画等で様々な目標値があるので入れなくてよいか。</p>
委員	<p>危機管理課、安心安全課、スクールゾーン委員会、防犯パトロール隊は具体的な動きか。その中で校区の安心安全ネットワーク協議会を市が作っているが、これはどこにあるのか。</p>
座長	<p>これは市の協議会だから入れてない感じか。</p>
事務局	<p>入れるとすれば安心安全課のところにもう一つ枠を入れることになると思う。</p>
委員	<p>だからそこでセーフコミュニティを取り組んでいくみたいな形になっていくと思う。</p>
座長	<p>今さら入れるとかえって混乱したり逸れたりするようであれば、結構だ。この報告書にもしっかり位置付けられていると入れておくと、どこでも後で使えたり、そのことがかえって目標に近づいていたりすることもあるので、少し大きな視点も申し上げてみた。12ページの第六次総計の中にそういう文言がいくつかあるので、それでシェアすることも可能だと思う。</p>
委員	<p>この報告書をより具体的に、今後例えば広げていくというようなビジョンについて、よければお聞かせいただきたいと思うが、いかがか。</p>
委員	<p>これは報告書だけど、協議会に流すときはタイトルは変わるのか。</p>
委員	<p>これは具体的に、今後まとまった後どういうふうになっていくのか（お聞きしたい）。</p>
委員	<p>これからの新しい協議会の取り組みに向けてみたいな感じに。</p>
委員	<p>よければその辺り教えていただきたい。これは今回これでまとまって、基本的には一般公開という形でホームページに掲載されると思うが、これをどういうふうに活用していく、もしくは利用していくみたいなビジョンや方向性はあるか。</p>
座長	<p>タイトルはおそらくこのまま出る予定だったと思うが、今後に向けて検討してみるのはいいいアイデアだ。</p>
委員	<p>そういう形で考えていただければと思う。</p>
事務局	<p>副題みたいな形か。</p>
委員	<p>副題でもいいし、これはあくまでも市長に出すものだと思うので、一般市民のチェックリストも含めてとても中身がいいので、タイトルを変えて冊子を作っていただければありがたい。</p>
委員	<p>このまま本当に検討に使える中身だから、結構実用的だと思っている。こ</p>

発言者	発言要旨
	<p>の実用的なものを報告書という成果で終わらせるのがもったいない。先ほどから出ているように、これを例えばコーディネーターがその地域に持ち込んで、もう一度読み合わせをしたり確認したりという話もすでに持ててはいるが、実際にこの報告書がどう活用されていくのか、それも地域にお任せするのか、何かを促したり具体的にどうするというのがあるか。</p>
事務局	<p>協議会に改めて今回の委員のお話を共有させていただくときは、このコンテンツを主に活用していくことになると思う。活用できる場面としては、5年に1回のプランの更新に差しかかる協議会は、特に改めて今の現状を振り返るところから始まることが多いと思うので、そういう場面では特に生きてくるものと思っている。当然これだけ投げっ放しにして、後は各協議会で読んでくださいという形で終わらすつもりはない。</p>
委員	<p>ぜひその辺りをしっかり（取り組んでいただきたい）</p>
委員	<p>これから活動していく中で、自分のバイブルとして、報告書を協議会全体だけでなく今携わってる社会教育部会の目的に、自分の常日頃の活動が逸脱してないかどうかという検証にも応用できる。各協議会の部会長たちも参考書として紙媒体があれば、チェックして自分の中でできているかどうか（確認がきるし）今度は部会長が部会員たちと会議するときにも参考になる。そういう発展性のある冊子として、最終的にすべての市民へ配付するのは無理かもしれないが、そういったことの発展はあるのか。</p>
事務局	<p>各協議会ないし町内会まで（配布するのは）はどうかという検討状況。</p>
委員	<p>そのときには製本された冊子か。</p>
事務局	<p>それはこれから検討する。</p>
委員	<p>委員から評価されている図や表は、文章を読むよりもまずビジュアルとして素晴らしく、これでチェックしてみんなで進捗状況の確認ができて、この報告書が自分たちにとって目的ではなくて手段として使えるものとしてやっていければと思うとても素晴らしいもの。</p>
事務局	<p>手段として使うのなら、常にアップデートしていく場合にはホームページという手段になるし、報告書という形で一応フィックスされたものであれば本という形でもいいし、そのあたりの使い方や活用の仕方は、ちょっと我々も試行錯誤させていただきたい。一旦報告書としてまとめて現場で使う際にどうしていくのかは多分毎年変わってくる話なので、本として配ってしまうと新しいものじゃない可能性が出てくる。その辺り我々も考えていかなくてはと思っている。</p>
委員	<p>ファーストステージとして報告書ができただけでも素晴らしいことで、次のステップに行くということか。</p>
委員	<p>これがWindowsの更新のように、バージョン1.2とか1.3となる</p>

発言者	発言要旨
	といい。
事務局	そのようなイメージ。そうすると、紙にするとかえってよろしくない。
委員	だからさっき言われたように、どう活用するか考えないといけない。
事務局	我々も考えるし、場合によってはこの懇話会が終わってもいろいろご意見をお伺いするかもしれない。
委員	ちなみにコーディネーターの連絡会はいつ頃あるのか。
事務局	4月にできればと思っている。
委員	そのときに配付できるのか。
事務局	各協議会に広めていく前に、まずコーディネーターから。
委員	先ほど委員が言われたように、読み合わせでもぜひ活用していただきたいみたいな形で促していただければ。
座長	予算もあると思うので、そのあたりもご検討いただければと思う。
事務局	10ページは委員からお褒めの言葉をいただき嬉しいが、11ページ上段の情報提供をもとに構成団体とよく話し合い協議会で取り組むべき活動を決めていきましょう、いろいろあるけれど優先順位をつけて取捨選択していかないと協議会は持ちません、と言った後でコミュニティスクールがきているということは、他の活動は取捨選択してください、ただコミュニティスクールだけは必ずやってくださいみたいな流れに(思える)。この報告書だけ見るとそういう読み方になってしまうので、コミュニティスクールを書く位置は別のところでもいいのでは。これだけ複雑に10ページに絡んでいますよ、そのあたりは今後地域のニーズに応じてやりましょう、と言った後にこれでは、流れとしてあまりよろしくないと思う。こういう取り組みは将来の担い手や地域・学校との関係も重要だが、場所をもう少し考えてみてもいいか。目立って欲しいが、流れ的に(変えた方がいい)。
委員	確かに2、3週間前小学校の校長先生が協議会に来られたときに、コミュニティスクールが次年度から始まるので、また地域や協議会の協力も得ながら構成員を決めてやっていきたいという話をしてくださったので、これを見てかなり協議会と連携していると思ったが、少し踏み込み過ぎなところこの表現ではあるという感じなのか。
事務局	各課で地域の方々と連携してやっている数多ある取り組みの中で、コミュニティスクールだけ少し特質すべきような書き方になっている。
座長	確かにすべてトピックとして紹介してもいい取組みだ。
事務局	それぞれ大事な取り組みの中でのこの位置付けというのを、せめてその位置を少し考えさせていただきたいと思っているので、ご了解いただければ。
委員	早く伝えて欲しい、知って欲しいことを、具体的に1枚の紙でもいいので届けていただくと嬉しい。

発言者	発言要旨
座長	<p>11ページのコミュニティスクールの下から2行目に、学校と協議会のさらなる連携が進むことが予想されるという一步引いた書き方もその意図かと思うし、説明するなら、令和5年度からすべての小中に導入される話題性や鹿児島市独自の特性もあって特集的に紹介したとすることができると思う。</p>
事務局	<p>ぜひ私どももそうしていただきたいし、地域もぜひこの制度を活用して学校と連携していただきたいという気持ちはある。あと最後の協力、連携していく必要があるという書き方等も含めて、少し踏み込み過ぎの部分があるという印象があった。</p>
座長	<p>それで結構かと思う。                      それでは本日の会議はこれで終了する。皆様方には、長時間にわたり貴重なご意見をいただき、また、議事進行にご協力いただき、感謝する。</p>